

令和7年度第2回長野県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和8年2月17日(火) 10:30~12:30
- 2 開催場所 長野職業能力開発促進センター閲覧室
- 3 主な議題
 - イ 令和7年度職業能力開発事業実績について
 - ロ 令和8年度職業能力開発事業実施計画について
 - ハ 令和7年度第2回松本訓練センター部会報告について
- 4 議事経過
資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(雇用保険初回説明会における離職者職業訓練の説明について)

- ・ 労働局では、初回説明会参加者に職業訓練の理解を深めてもらうため、県内全てのハローワークにおいて、職業訓練制度の説明内容を統一することを予定している。ポリテクセンターでも、ハローワーク職員が初回説明会参加者に対してスムーズに職業訓練制度の説明ができるよう各コースの統一かつ詳細な説明をお願いしたい。

(離職者訓練における女性受講者増加のための取組みについて)

- ・ 離職者訓練の募集パンフレットには、完成部品のみ掲載するのではなく、加工の方法や図面などの詳細な製造過程を情報発信できると職業訓練に馴染みのない人にもものづくりのイメージがしやすくなる。女性比率の向上ために、引き続きものづくりの魅力を伝えていってほしい。

(離職者訓練における再就職支援の取組みについて)

- ・ 就職意識が高くない人に対して、どのようにして就職への意識を醸成していくかが重要である。
- ・ 就職支援は訓練修了3か月で一旦区切りとなるが、そこまでに再就職が決まらなかった方への対応も重要と考える。また、就職先企業の開拓を含めてどのようにキャリアサポートをしていくかが大事である。

(募集パンフレット及び求職者情報誌における掲載内容の統一について)

- ・ 求職者情報誌は長野と松本で掲載内容が異なるが、県で統一した方が見やす

いと思う。

- ・ 掲載内容の統一という点では、求職者情報誌だけでなく募集パンフレットも、訓練内容の流れや就職先企業の掲載、採用者の声など、長野と松本で違いがあるので、コンテンツの有用性を考慮しつつ作成する方がよい。

（在職者訓練のアンケートについて）

- ・ 在職者訓練の実施において、自由記述のアンケートを実施することは非常に有意義である。

（生産性向上支援訓練における訓練コースについて）

- ・ 生産性向上支援訓練の中でも書類作成や表計算ソフト等のデータ活用、AI活用などの訓練に今後も力を入れてほしい。

（各種イベントの開催について）

- ・ 産業フェアやものづくり体験教室を通じて地域と交流し、ものづくりの魅力を発信していることはよい。

令和7年度第2回長野県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (1 名)	森 俊也	公立大学法人長野大学 企業情報学部長・教授
労働者代表 (1 名)	竹村 進	日本労働組合総連合会長野県連合会 事務局長
中小企業等代表 (5 名)	平林 靖久	一般社団法人長野県経営者協会 専務理事
	井出 康弘	長野県中小企業団体中央会 専務理事
	高橋 孝一	一般社団法人長野県商工会議所連合会 常務理事
	中村 正人	長野県商工会連合会 専務理事
	内田 雅啓	公益財団法人長野県産業振興機構 専務理事
行政機関 (3 名)	大木 隆久	長野労働局 職業安定部長
	鈴木 敏之	長野公共職業安定所 所長
	河野 恵美	長野県 産業労働部 産業人材育成課長